

日本語学基礎演習1

平成23年1月12日 発表

流行語と顔文字における 認知度と使用頻度の差

荒川班

0309058 荒川里美

0309030 杉田沙樹

0307163 巴千草

調査概要



- 目的：流行語と顔文字について、性別やメディア（テレビ・インターネット）との接触時間などによって、その使われ方にどのような差があるかを調べる。
- 調査方法：調査票によるアンケート
- 調査対象：日本語学基礎演習1を履修する学生19名（男性12名・女性7名）
- 有効回答数19

質問項目に挙げた単語・顔文字について

● 流行語

・草食男子・小泉劇場 ・上野413球 ・ポビーマジック ・メタボ ・政権交代

⇒ユーキャン新語・流行語大賞(2000年代)の流行語から、班内で調査項目と同じ作業をして点数化した。その中で、高得点・平均付近・低得点それぞれ2つずつ、計6種を選んだ。

● 顔文字

・(^O^)/ ・f^_^; ・(^人^) ・(+_+) ・(;_;) ・φ(..)

⇒au、docomo、softbank(vodafone)の3機種 of 携帯電話に内蔵されている顔文字の中から、共通するものを選び、班内で調査項目と同じ作業をして点数化した。その中で、高得点・平均付近・低得点それぞれ2つずつ、計6種を選んだ。

「流行語スコア」の定義

Ⅱ. 以下のことばについて、「1. 知っているし、よく使用する」「2. 知っているし、たまに使用する」「3. 知っているし、使用していた時期がある」「4. 知っているが、使用しない」「5. 知らないし、使用しない」の4つの選択肢の中から最もあてはまる

空欄に○を付けてください。

- ・草食男子 ・小泉劇場 ・上野413球 ・ポビーマジック
- ・メタボ ・政権交代

調査票の質問項目Ⅱの回答を、

知っているし、よく使用する・・・4点

知っているし、たまに使用する・・・3点

知っているし、使用していた時期がある・・・2点

知っているが、使用しない・・・1点

知らないし、使用しない・・・0点

と点数を付けて合計した点が、高いほど流行語の認知度と使用頻度が高いといえる。

「顔文字スコア」の定義

Ⅲ. 以下の質問にお答えください。

(2)(1)で「1. よく使用する」または「2. たまに使用する」と答えた方に質問です。以下の顔文字について、「1. よく使用する」「2. たまに使用する」「3. 使用しない」の3つの選択肢の中から最もあてはまる空欄に○を付けてください。

・(^O^)/ ・f^_^; ・(^人^) ・(+_+) ・(;_;) ・φ(..)

調査票の質問項目Ⅲ(2)の回答を、

よく使用する・・・2点

たまに使用する・・・1点

使用しない・・・0点

と点数を付けて合計した点が、高いほど顔文字の使用頻度が高いといえる。



仮説

- ①女性のほうが、男性よりも顔文字を多く使っている。(巴)
- ②メールの送信数が多い人ほど、顔文字を多く使っている。(杉田)
- ③インターネットを利用する時間が多い人ほど、流行語・顔文字ともに使用率が高い。(荒川)
- ④テレビを見る時間が多い人ほど、流行語の認知度が高い。

仮説①

女性のほうが男性よりも 顔文字を多く使っている(仮)

調査に使用した質問項目:

- ・Ⅰ(1)あなたの性別を教えてください。 [1. 男 2. 女]

⇒性別

- ・Ⅲ(1)あなたは普段、家族や友人宛に送るメールに顔文字を使用しますか。最もあてはまる回答の番号に○を付けてください。

[1. よく使用する 2. たまに使用する 3. 使用しない]

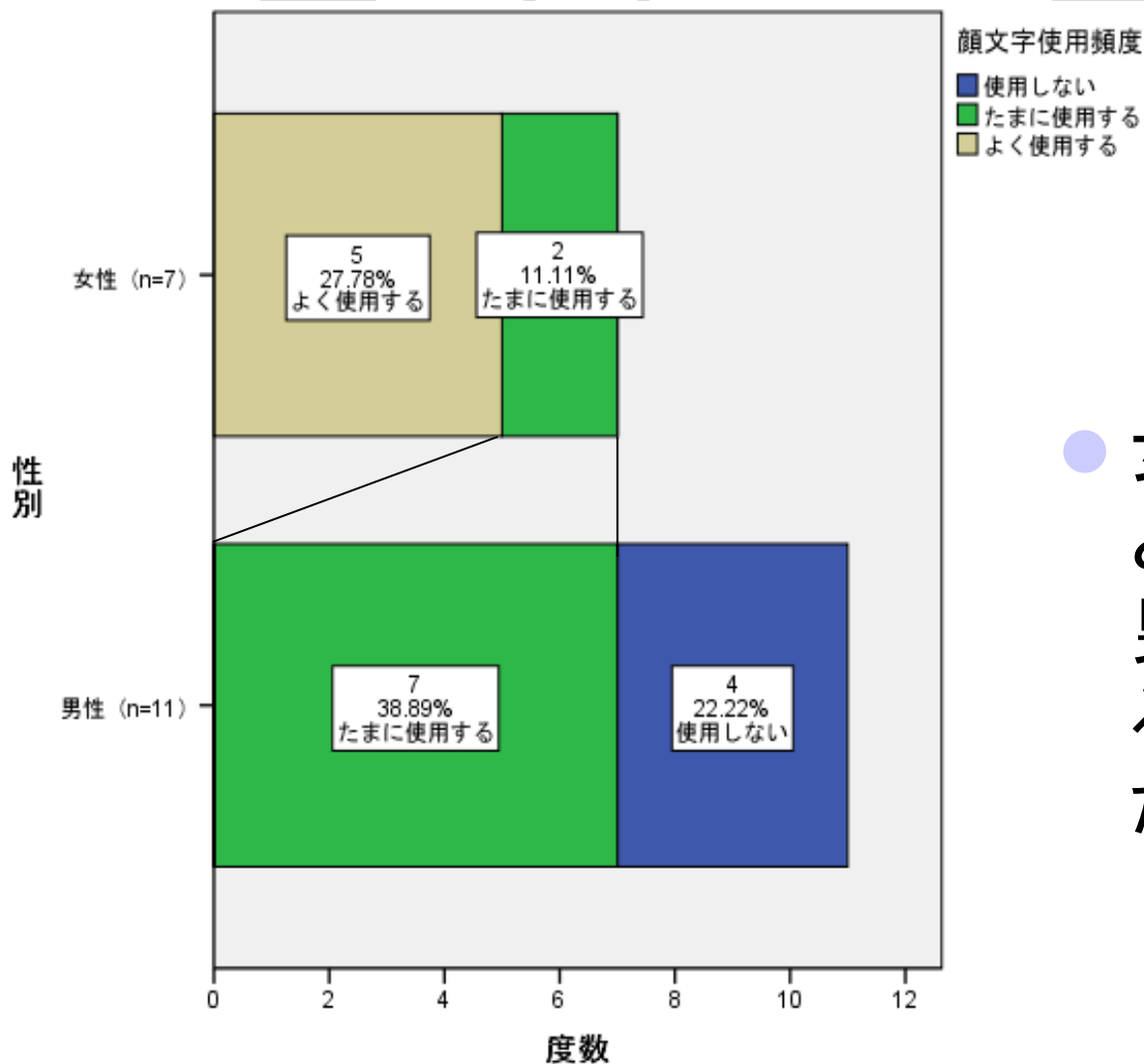
(2)(1)で「1. よく使用する」または「2. たまに使用する」と答えた方に質問です。以下の顔文字について、「1. よく使用する」「2. たまに使用する」「3. 使用しない」の3つの選択肢の中から最もあてはまる空欄に○を付けてください。

・(^o^)/ ・f_~; ・(^人^) ・(+_+) ・(;_;) ・φ(..)

⇒顔文字の使用頻度

データの結果1

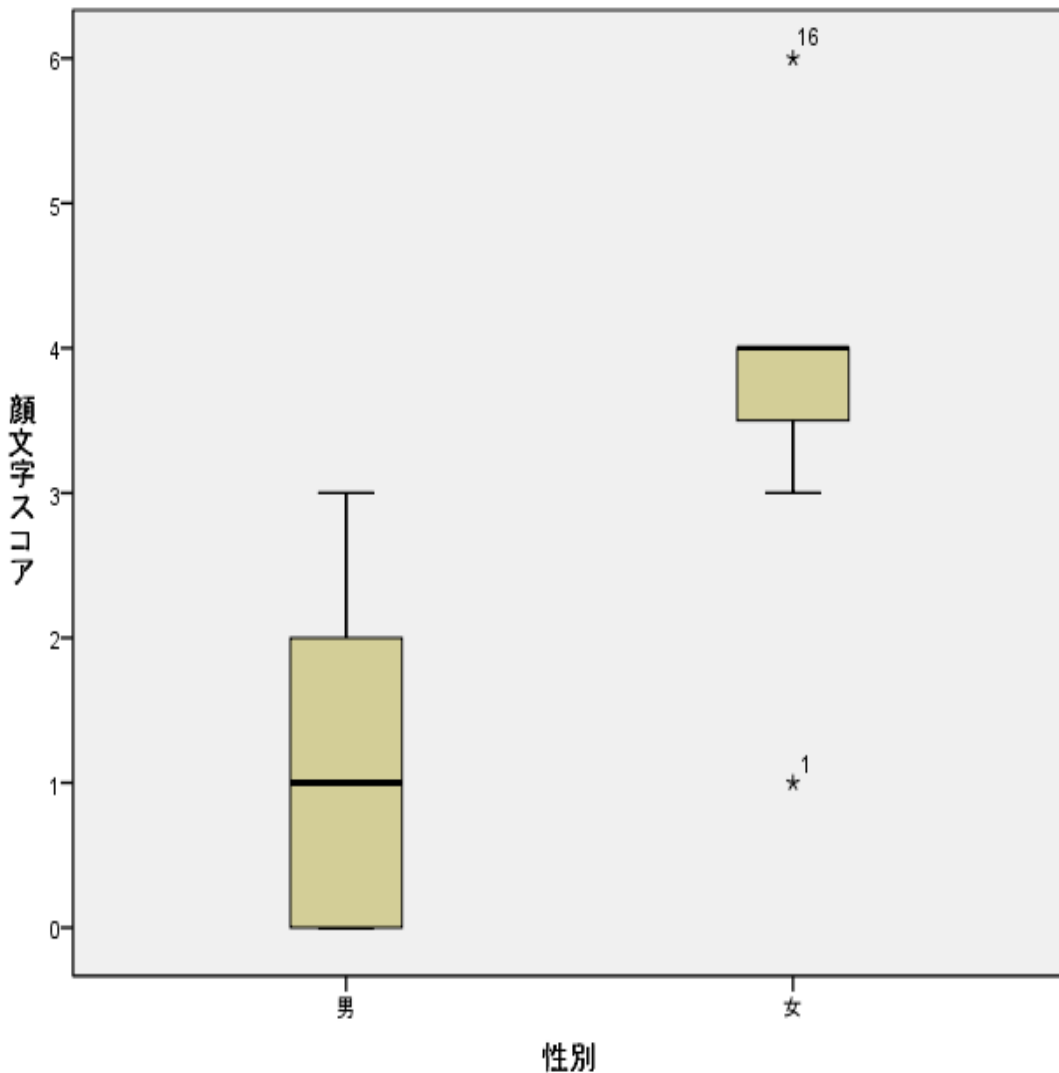
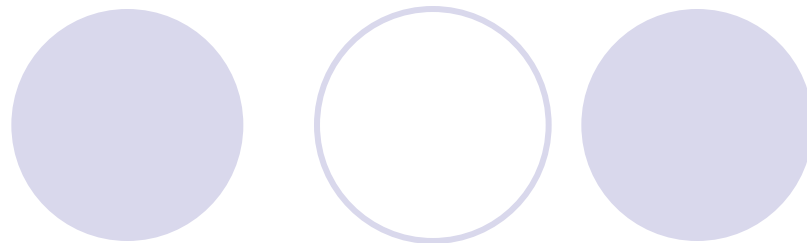
男女別顔文字使用頻度



- 女性は「使用しない」と答えた人が0人、男性は「よく使用する」と答えた人が0人だった。

データの結果2

男女別顔文字スコア

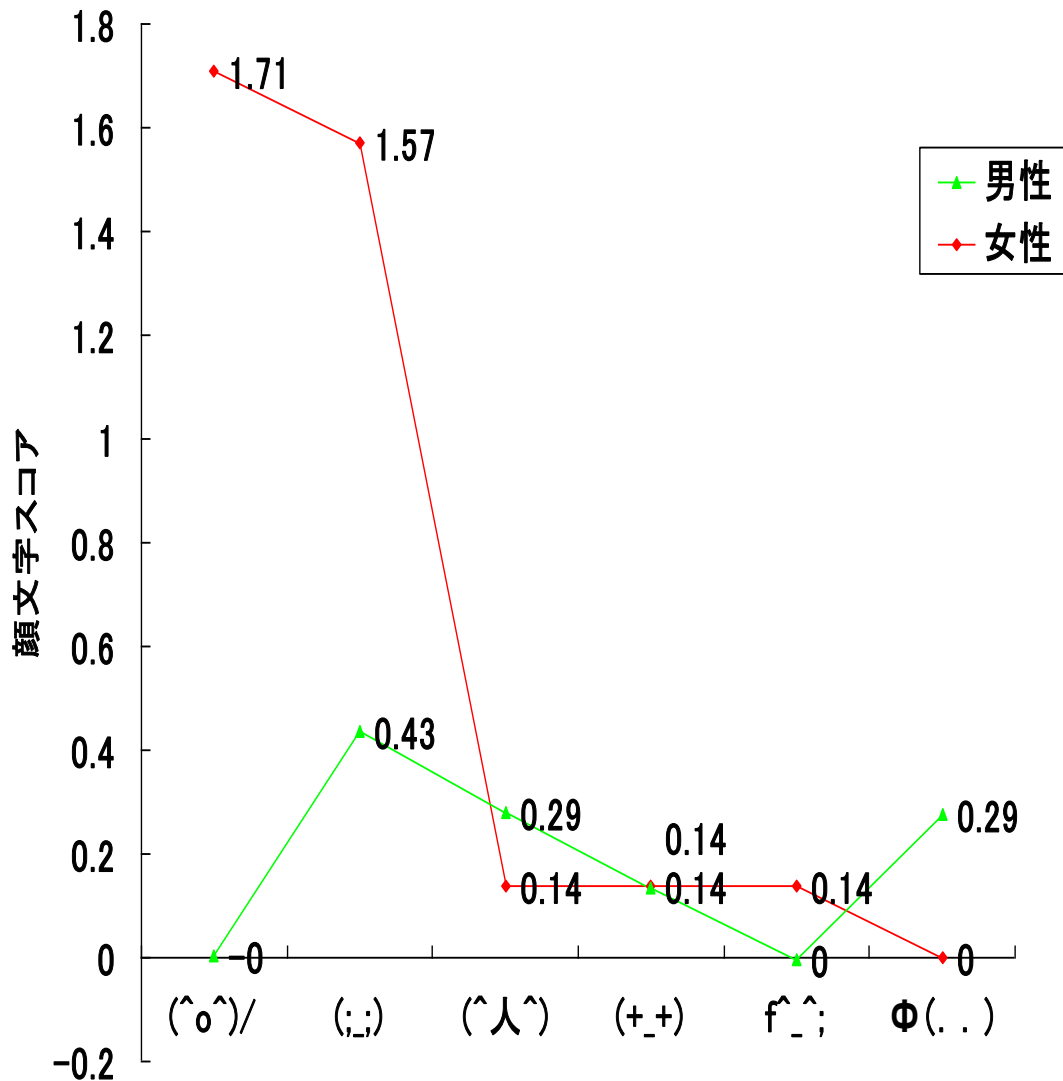
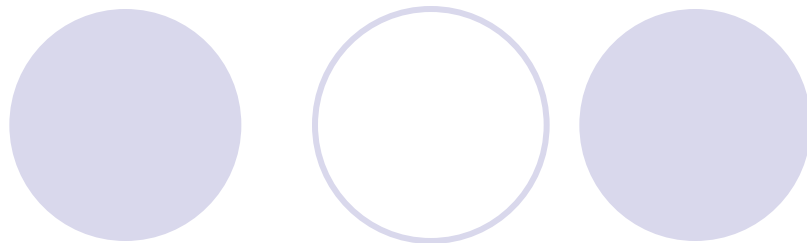


性別	平均点	度数	標準偏差
男性	1.14	7	1.21
女性	3.71	7	1.49
全体	2.43	14	1.87

- 女性のほうが平均点が高い。
- 最高得点は男性3点、女性6点。
- 最小得点は男性0点、女性1点。

データの結果3

項目ごとの顔文字スコア平均点



- ・「(^o^)/」は女性によく使用するが、男性は使用しない。
- ・「(;_;)」は男女ともによく使用する。
- ・「(^人^)」 「Φ(. .)」は女性よりも男性のほうがよく使用することがわかる。

結果・考察

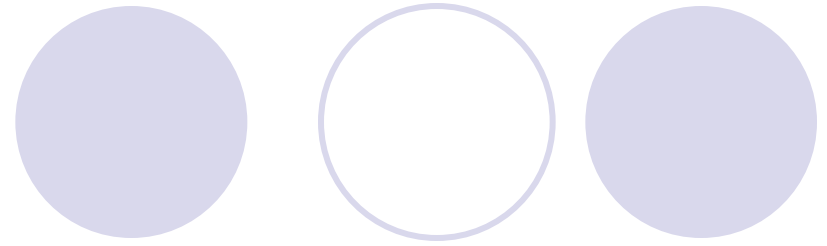


- 仮説のとおり、男性よりも女性のほうが顔文字を多く使用する
- 使用する顔文字は、楽しい・悲しいなど感情をはっきり表すものが多く使われる
- 女性のほうが喜怒哀楽を伝えたいという思いが強いためではないか

仮説②

- メールの送信数が多い人ほど、顔文字を多く使っている。(杉田)

使用した質問項目



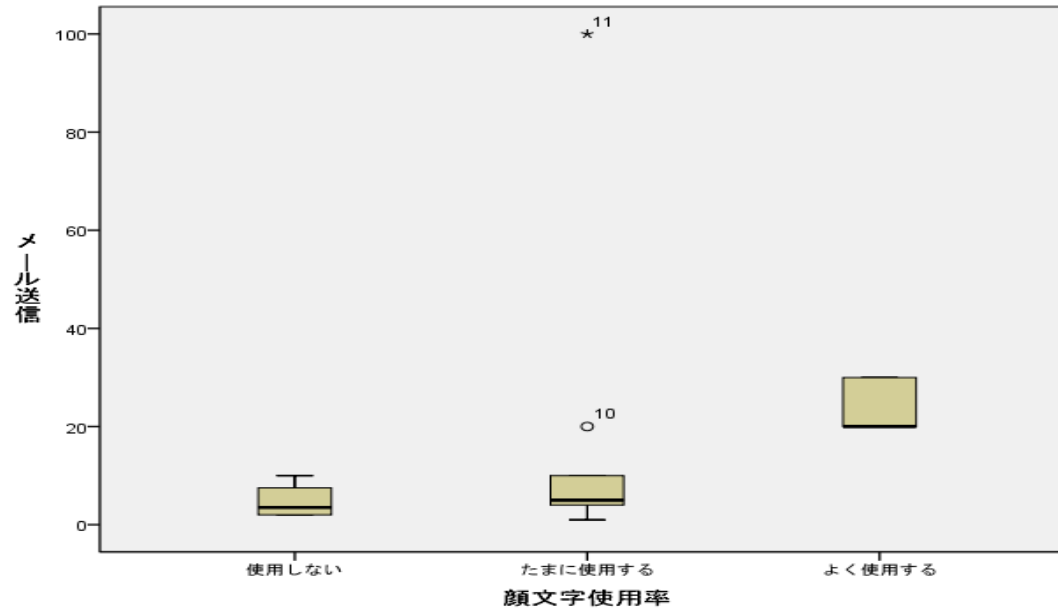
- I (4) あなたは一日に何通くらいのメールを送信していますか。

⇒メール送信数

- Ⅲ (1) あなたは普段、家族や友人宛に送るメールに顔文字を使用しますか。最もあてはまる回答の番号に○を付けてください。

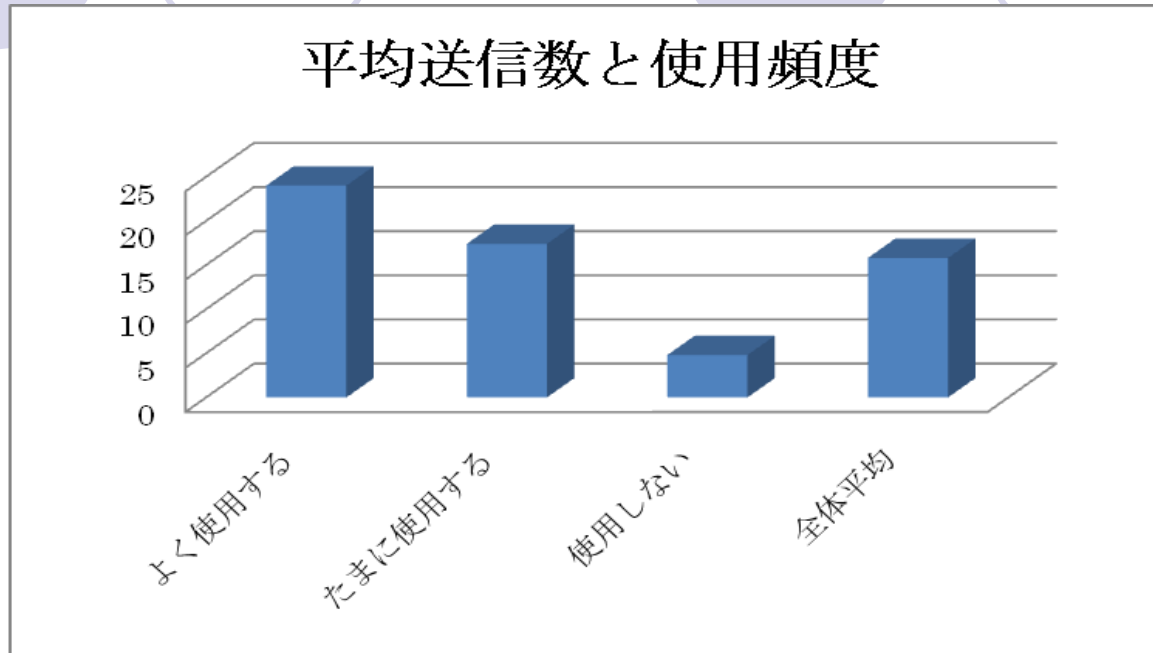
⇒顔文字の使用頻度

分析結果①



- この図は、メールの送信数と顔文字使用頻度を箱ひげ図にしたものである。

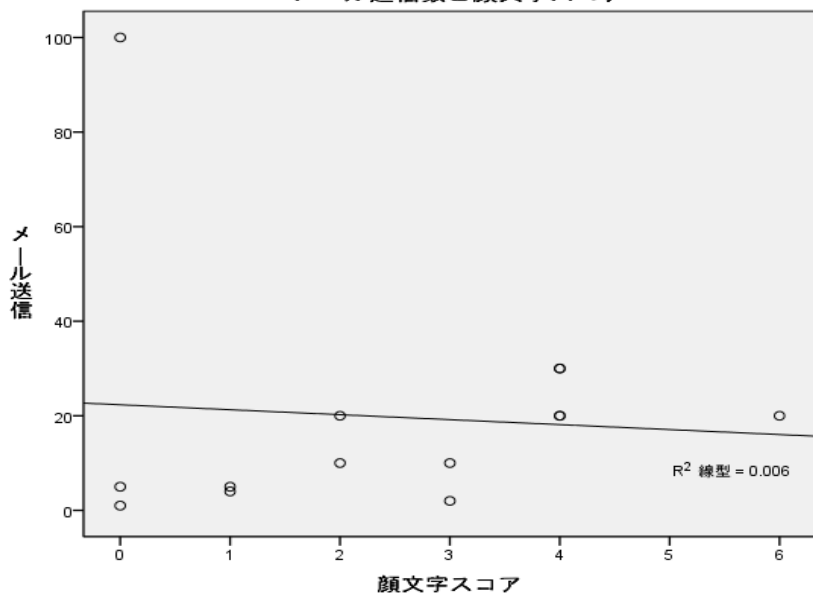
分析結果②



- この図は、平均メール送信数と顔文字使用頻度をグラフにしたものである。なお、全体の平均は約15.8通、「よく使用する」は24通、「たまに使用する」は約17.4通、「使用しない」は約4.8通だった。

分析結果③

メール送信数と顔文字スコア



相関係数

		メール送信	顔文字スコア
メール送信	Pearsonの相関係数	1	-.078
	有意確率(両側)		.790
	N	19	14
顔文字スコア	Pearsonの相関係数	-.078	1
	有意確率(両側)	.790	
	N	14	14

- 左は、送信数と顔文字スコアを散布図にしたものである。送信数が一番多かった人のスコアが0だったので、参考までに載せた。右は送信数と顔文字スコアの相関係数である。データから、負の相関の関係であると分かる。

結果・考察

回答者数19人のうち、「よく使用する」と回答した人は5人、「たまに使用する」と回答した人は9人、「使用しない」と答えた人は4人、欠損値は1という結果だった。

以上の結果より、サンプル数も少なく、あまり大きな差は出なかったが、「たまに使用する」と答えた人よりも、「よく使用する」と答えた人の方が、比較的メールの送信数が多いことが分かった。ただし、今回の調査で最も多かった送信数の人は「たまに使用する」と回答しているため、必ずしも正しいとは言えない。しかし、顔文字を使用していると答えた人のメールの送信数は大概多かったので、大体仮説に当てはまるものと思われる。やはり、送信数が多い人ほどメールに接する機会も多く、顔文字も多く使うのではないかと考えた。ただ、散布図の結果を見ると、送信数が多くてもスコアが低い人もいるので、今回質問した顔文字は使わないが他のものなら使うという人もいるのではないかとと思われる。また、相関係数から負の相関という結果が出たので、今回の調査では送信数が多い人ほどスコアが低く、スコアが高い人ほど送信数が少ないと言えるだろう。



仮説③

- インターネットを利用する時間が多い人ほど、流行語・顔文字ともに使用率が高いだろう。
(荒川)

調査に使用した質問項目

I. (2)あなたは普段1日にどのくらいインターネットを使用しますか。[約

時間]

⇒インターネットの使用時間

II. 以下のことばについて、「1. 知っているし、よく使用する」「2. 知っているし、たまに使用する」「3. 知っているし、使用していた時期がある」「4. 知っているが、使用しない」「5. 知らないし、使用しない」の4つの選択肢の中から最もあてはまる空欄に○を付けてください。

・草食男子 ・小泉劇場 ・上野413球 ・ボビーマジック
・メタボ ・政権交代

⇒流行語の使用スコア

III. 以下の質問にお答えください。

(2)(1)で「1. よく使用する」または「2. たまに使用する」と答えた方に質問です。以下の顔文字について、「1. よく使用する」「2. たまに使用する」「3. 使用しない」の3つの選択肢の中から最もあてはまる空欄に○を付けてください。

・(^O^)/ ・f^_^; ・(^人^) ・(+_+) ・(;_;) ・φ(..)

⇒顔文字の使用スコア

データの結果1

・ネット使用時間

全体平均	2.1時間
最大	5時間
最小	0.5時間

※この結果を踏まえ、以降のグラフなどでは全体平均値以上を「よくネット(流行語・顔文字)を使用している」と考える。

・流行語スコア

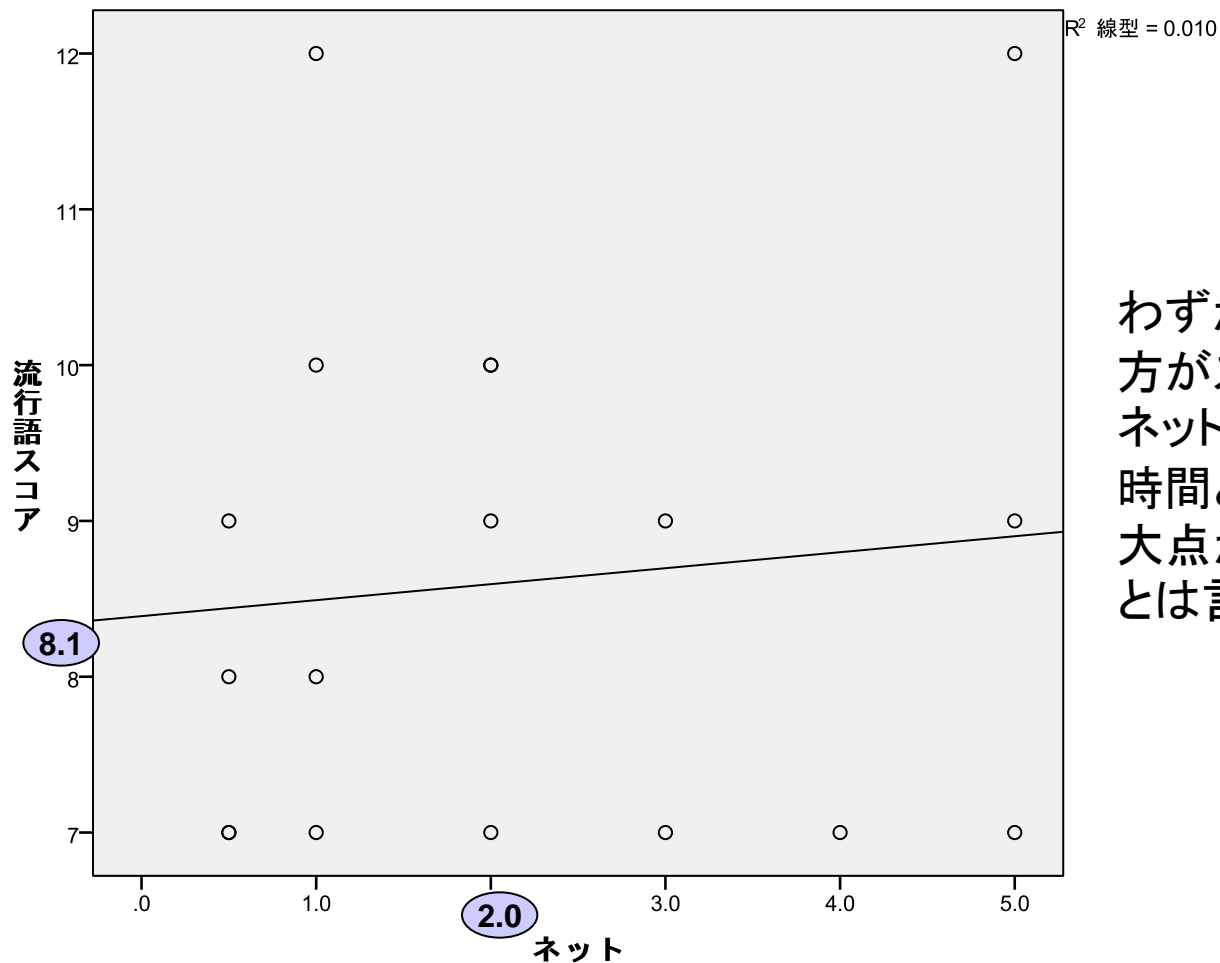
全体平均	8.1点
最大	12点
最小	7点

・顔文字スコア

全体平均	2.4点
最大	6点
最小	0点

データの結果②

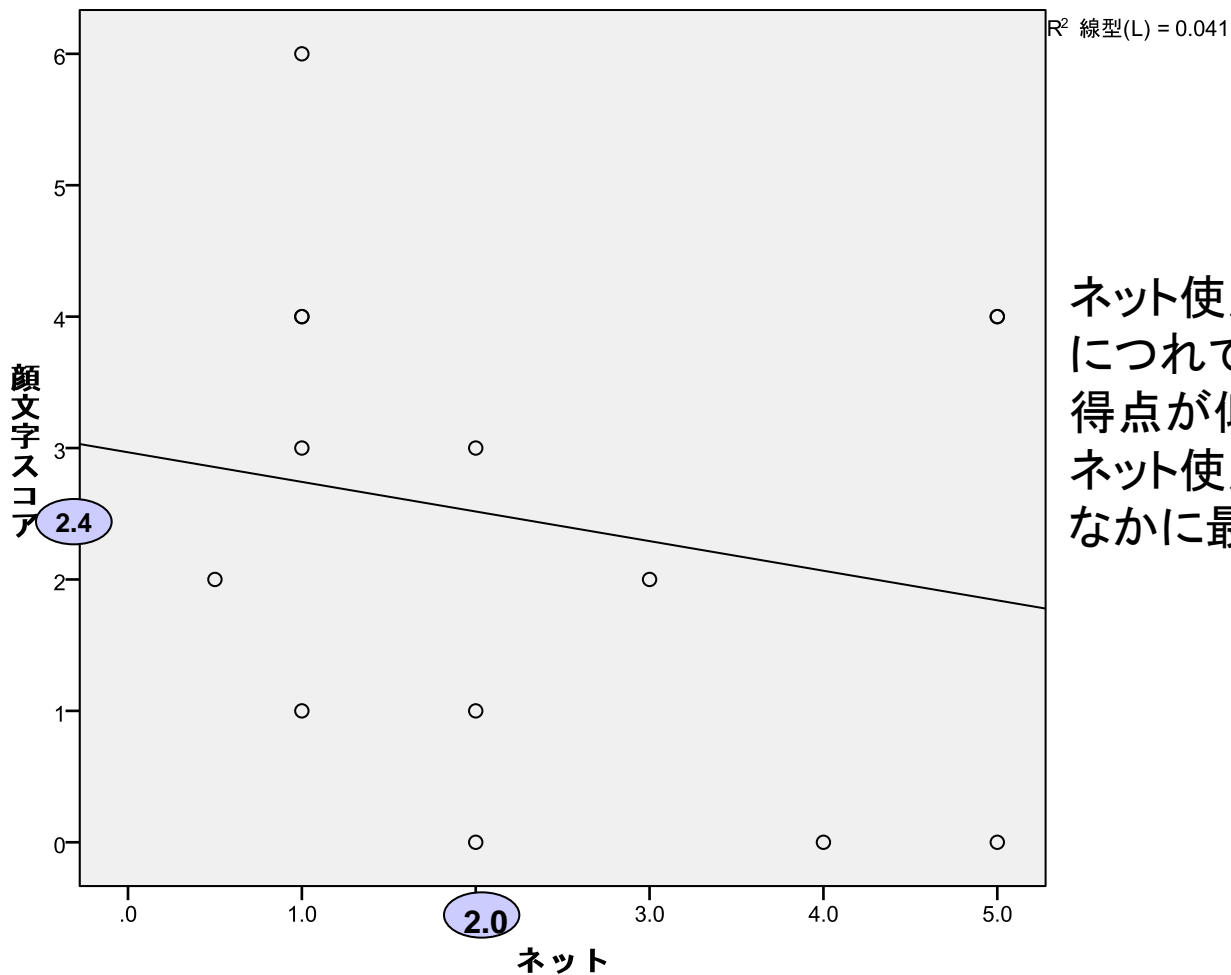
・ネット使用時間と流行語スコアのグラフ



わずかにネット使用時間が多い方がスコアの得点も高いが、ネット使用時間が1.0時間と5.0時間という異なる使用時間で最大点が出ているので、差があるとは言いづらい。

データの結果③

・ネット使用時間と顔文字の使用スコアのグラフ



ネット使用時間が多くなるにつれて、顔文字スコアの得点が低くなっている。ネット使用時間1.0時間のなかに最高得点も出ている。

データの結果④

相関係数

		流行語スコア	ネット
流行語スコア	Pearsonの相関係数	1	.100
	有意確率 (両側)		.694
	N	18	18
ネット	Pearsonの相関係数	.100	1
	有意確率 (両側)	.694	
	N	18	19

流行語スコアとネット使用時間の相関係数(r)は、0.100($p=0.694$)なので、1%水準で統計的に有効な相関はない。

相関係数

		ネット	顔文字スコア
ネット	Pearsonの相関係数	1	-.204
	有意確率 (両側)		.485
	N	19	14
顔文字スコア	Pearsonの相関係数	-.204	1
	有意確率 (両側)	.485	
	N	14	14

顔文字スコアとネット使用時間の相関係数(r)は、-0.204($p=0.485$)なので、1%水準で統計的に有効な弱い相関がある。

結果

▪ ネット使用時間、流行語スコア、顔文字スコアは最大と最小の差が顕著に現れたが(ネット使用時間の差が4.5時間、流行語スコアの差が5点、顔文字スコアの差が6点)、ネット使用時間と流行語スコアの相関性はなく、ネット使用時間と顔文字スコアの相関性も弱かった。よって、仮説の通りにはいかなかった。

▪ 流行語スコアの散布図は、確かに線は右肩上がり、多いほど点数が高いという結果が見られた。また、5.0時間は12点と最高得点だったが、1.0時間の方にも12点を取っている人がおり、多ければ多いほど得点率が上がるという結果を見る事が出来なかった。相関係数を見ても、「相関はない」という結果になった。

▪ ネット使用時間と顔文字スコアの散布図では、逆にネット使用時間が多くなるにつれて、顔文字スコアの得点が低くなっていた。相関係数が「-2.04」であるので、反比例の弱い相関があることが分かった。

考察

- ・調査開始時は、ネットを見れば見るほどニュースや文章を打つ機会が多く、流行語や顔文字の多用すると考えていたが、今回の調査でその考えが間違っていたということが分かった。
- ・仮説で立てたような差が現れなかった理由は、流行語も顔文字もネットという媒体に依存しておらず、ネットを使用する際に使われているわけではないからだと考える。しかし、流行語も顔文字も最小と最大に差が顕著に現れているので、ネット以外にこれらを使用する機会があるのだろう。

仮説④

テレビを見る時間が多い人ほど、
流行語の認知度が高い。

調査に使用した質問項目

I. (2)あなたは普段1日にどのくらいテレビを観ますか。[約 時間]

⇒テレビの視聴時間

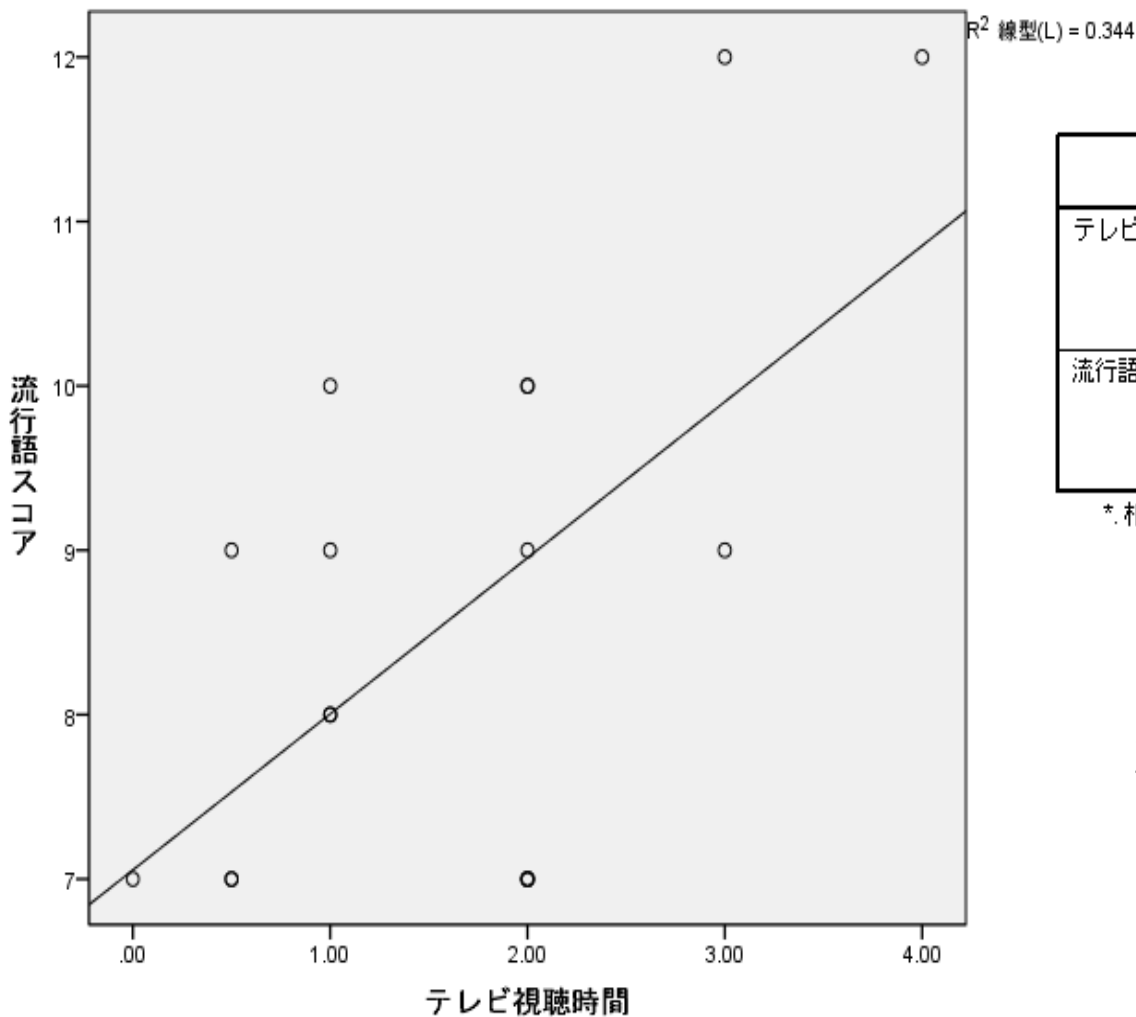
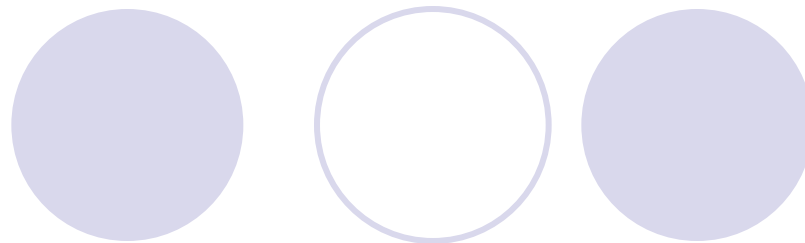
II. 以下のことばについて、「1. 知っているし、よく使用する」「2. 知っているし、たまに使用する」「3. 知っているし、使用していた時期がある」「4. 知っているが、使用しない」「5. 知らないし、使用しない」の4つの選択肢の中から最もあてはまる空欄に○を付けてください。

草食男子・小泉劇場・上野413球・・ボビーマジック・メタボ・政権交代

⇒流行語の認知度

データの結果

テレビ視聴時間と流行語スコアの散布図



相関係数

		テレビ視聴時間	流行語スコア
テレビ視聴時間	Pearsonの相関係数	1	.586 [*]
	有意確率(両側)		.011
	N	19	18
流行語スコア	Pearsonの相関係数	.586 [*]	1
	有意確率(両側)	.011	
	N	18	18

*.相関係数は5%水準で有意(両側)です。

テレビ視聴時間が長いほど
流行語スコアが高くなった。

相関係数から、中程度の相
関があるといえる。

結果と考察

- ・テレビを見る時間が多くなると、流行語スコアも高くなった
⇒仮説は正しい
- ・テレビは旬の情報を多く扱うので、見ることによって多くの流行語を知ることができるため、このような結果になったと考えられる

全体のまとめ

- 流行語はネット利用時間で認知度・使用頻度に差はないが、テレビの視聴時間が多いほど認知度・使用頻度が高い。
⇒流行語はネットではなくテレビを媒体として発信されている
- 顔文字は女性のほうが多く顔文字を使う。女性のほうが感情を伝えたいという気持が強いためか。
またネット利用時間では使用頻度に差は無いが、メール送信数が多い人のほうが使用頻度が少し高い。